



ROAD No.27

For Others, With Others

編集・発行：
上智大学教育学科同窓会

2024年度 教育学科同窓会 会員大会 11月10日（日）に開催!!

- 講演会・会員大会 …… 午後1時～午後2時30分（午後0時30分 受付開始）
- 懇親会 …… 午後2時45分～4時30分
- 会場 …… ソフィアスクラブ（ソフィアタワー・6号館6F）
- 懇親会費 …… 3,000円（現役生は無料）※ 当日受付でお支払いください。

世界から見た『移民社会』がはじまる日本』に思うこと

— 軍事情権のアノ国と日本を毎月往復 —
講演会講師… 野村 幸憲さん（一九九〇年卒）

「ニッポン、大丈夫か？」とタイ人も日本のことを心配しとるでえ！ アジアで物価や給料が上がってないのは日本だけやからな！」 約三〇年ぶりに会った先輩は、相変わらず世界と日本を往復する忙しい毎日のようだ。探検部時代の当時も、世界を巡り、愉快な貧乏旅行の話で我々後輩に影響を与えていた。飲み会では、皆が料理を食べ残すと、「もったいないでえ！」と最後に一人でおさらいしてゆくバイタリティに溢れた姿が、強烈に記憶に残っている。

だから一九九〇年年初頭の卒業時、「M物産とI忠商事にW内定を得た」と聞いても不思議に思わなかった。しかし、その4大商社の内定を蹴り、「やっぱりこっちのほうが面白いでえ。」と日本、ネパールやモンゴルなどで旅行会社の起業に参画した。「風の旅行社」というその旅行会社は、個人旅行の先駆けとなり、業界で知らない者はいない会社となった。ところが、またまた十年ほど前、事業を軌道に乗せた後、先輩は会社から離れた。そして今、日本と

海外を毎月行き来しているという。ネパール、モンゴル、そしてあの軍事情権の国。



野村 幸憲 さん

手強い軍人や役人たちと渡り合い、手がけているのは…？ え？ 現地に学校をいくつも設立？ 学生の頃は、あれほど「教育にはあんまり関心が無い」と言っていたのに…？ 還暦間近の昨年、難関の国家資格を取得し、事業拡大しているとか？

「アマゾンとかのネットショッピングで買い物するやろ？ 『お買い物ありがと〜』ございます！』って、誰がメール送っているか知ってる？ 外国にいるウチの会社の従業員が対応しているんや

【参加ご連絡のお願い】

「講演会／会員大会・懇親会」への参加をご希望の方は、お名前と卒年を添えて、(1) 講演会／会員大会・懇親会の両方、(2) 会員大会のみ、(3) 懇親会のみいずれかを明記して以下までご連絡ください。

- HP の連絡フォーム（お勧め：右下の二次元バーコードから！）
： <https://www.sophia-education-alumni.com/contact>
- メール： sophia.education.alumni@gmail.com
- FAX： 03-3238-3980



で?!」
軍事情権下に生きる若者たちの絶望と希望、そしていま、日本に増え続けるアジアからの移民のリアルな様子。ますます移民社会が進む日本のあり方に、先輩は思うところがあるようだ。
日本と海外を毎月往復し、各国から日本に人を送り出す、異色の教育学科卒業生が、皆さんにとっておきの話を伝えます！
（一九九一年卒 片桐 智樹）

コロナ禍を経て、教育学科は、上智大学は、そして中教審は ― 奈須正裕先生（教育学科長）をお迎えして、栗原特任教授と ―

二〇二三年十一月十二日に、実に四年ぶりとなる会員大会が開催されました。会場はソフィアンズクラブでしたが、貸切りルールの変更があり日曜の開催となりました。

総会、懇親会前に実施してきました講演会は、今回学科長の奈須先生が教育学科の様子や中央教育審議会について軽快にお話になる、和やかなトークイベントとなりました。その一部をお伝えします。

▼まず二〇一九年度の学位授与式が中止になりましたね。
年を越えて授業と入試を乗り切った後、政府からの指示で学校は一斉休業となりました。三月末の学位授与式、そして謝恩会が中止にせざるを得なくなりましたが、ホテルはキャンセル料を取ったんですよ。当時の学科長、酒井先生が学生の負担にならないようにと配慮、対応なさいました。

▼二〇二〇年度は授業開始時期を繰り下げました。
少人数教育で学生を一番に考える上智らしく、授業を対面で行



「そうですね？」 栗原さん（左）
「そうですね？」 奈須先生（右）

いたというのが大学の当初の考え方でした。ここが他の大学と違うところです。ゴールデンウィークまで授業開始を遅らせて様子を見た上で、オンライン授業をスタートさせました。現在大学は一〇〇分授業で半期に十四回開講していますが、二〇二〇年度春学期は十回となりました。この状況は文科省も認めています。
なお、オリエンテーションキャンプの中止は痛恨の極みでしたね。学生にとっては、大学生活を始める上での人間関係を作る大事な機会でしたので。

▼学科の状況はいかがでしたか。
教育学科は学生の学びを慮り、三・四年、大学院のゼミにおいて独自に四月早々からオンラインで授業を始めました。私はNOO3に慣れていましたが、先生方に向け小松先生が指導なさいました。オンライン授業も始めてみると、いいじゃないかとなりましたね。NOO3では学生が皆前列にいます。顔が見えている」というのは大事なことです。教育学科らしい方針、取組でした。
コロナ禍では、留学生と編入生が抱える問題がありました。小松先生、杉村先生のゼミでは、日本に入国できない学生がいたわけです。修士の二年間すべて国外でオンライン授業という院生が杉村先生のところにいました。また、短大から三年に編入した学生も可哀想でした。中には、休学して卒業を延ばした学生もいます。

▼先生方のお話もお願いします。
二〇二〇年三月に加藤守通先生が退任されましたが、先生のご意向で最終講義や大きな会を催すということはありませんでした。後任が鈴木宏先生であり、上野正道先生同様に学科の卒業生です。小松太郎先生も含めて、三名がソフィアンというのは心強いですね。
教育学科教員の定員は八人ですが、現在はSPSFプログラムでお招きしたマリア・マンゾン先生を含めた九人体制です。その中で湯川嘉津美先生はすでに特別契約教授になられ、次が私と酒井朗先生（教育社会学会会長）、杉村美紀先生（比較教育学会会長）。実は私たち三人は東大大学院の同期なのですが、残り三年半足らずで退任です。しかし、相澤真一先生を含めた中堅、若手の優秀な研究者が揃っていますので、学科の将来は全く心配ありません。

▼では、奈須先生が初等中等教育分科会長代理でいらっしやる第十二期中央教育審議会について伺います。今期は、個別最適な学びと協働的な学びに関する特別部会、質の高い教師の確保特別部会が設置されていますが、その役割は何でしょう。
今の学校が抱えている大きな問題は、不登校と教員不足の二つです。
不登校の児童生徒は昨年小学校で一・七％、中学校では六％、高校でも広域通信制への進学者が増えています。これはコロナの影響だけではなく、今後増加が見込まれます。子どもたちは、学びの場としての学校に不信感を抱いているのです。
教員不足については、皆さんもご承知のことと思います。すでに採用が無試験に近い自治体もあります。成績が良いというだけでなく多様な教員の存在は、子どもにとって必要です。しかし、若者に職場として見限られていくという点に目を向けなければ、議論を進めることはできません。
日本の学校は再定義を求められている、それぐらい切羽詰まっていると中教審、文科省は考えています。
▼私も現場での経験や大学での講義を通して、学校に向けられている不信感を感じてきました。
学校、授業、教師の仕事、それぞれのイメージをどう変えるか、それを教育課程の作り直しで明らかにすることになりますが、まだスタートラインに着いていません。
明るい材料は、デジタル学習の導入です。学習の個別化、個性化を生み出しています。教師が否定的な姿勢を見せず、子どもが上手に使うことを認めれば、自ら計画を立て学習できるようになっていきます。
次の学習指導要領は、二〇二四年冬には中教審への諮問があり、二〇二六年度末に告示となるでしょう。私は丁度退任となりますが、次の世代にバトンを渡すまでが自分の仕事と理解しています。（聞き手と文責・栗原 峰夫）

ルビー祝レポート

二〇二四年二月二四日(土)に「二〇二三年度 金・ルビー・銀・銅祝式典」が大学主催により四谷キャンパスで開催されました。大学ホームページのニュース(トピックス)によりまずと、昨年五月に新型コロナウイルスが感染法上の五類に変更されて以来、対面による式典開催とソフィア会主催の立食形式の祝賀会が完全復活しました。私たち、一九八三年卒のルビー祝は全出席者数が三〇四名で、金祝(二七五名)、銀祝(二二一名)、銅祝(一五九名)の中で最多となりました。その中で教育学科のルビー祝(祝賀会)出席者は、十五名(男性十名、女性五名)でした。

私は午後の祝賀会からの参加でしたが、午前中の式典に出た人は記念品なども受け取り、素晴らしい式典であったと言っていました。祝賀会は、中庭下の懐かしいカフテリアで開催されました。学科ごとにかかれたテーブルに続々と同期の仲間が集まり、中には銀祝から十五年ぶりに再会する友人もいて、和気あいあいと旧交を温めることが出来ました。皆六〇歳を越え、定年後の第二の人生を歩んでいる人もいて、仕事の近況、家族の話、出席できなかった仲間のこと、お決まりの病気

や健康そして趣味の話で盛り上がりました。四国や近畿の遠方からはるばる参加した友人もいました。

十年後の金祝での再会を誓い、祝賀会場を後にしましたが、私も含めてもっと話したいという同志数名で学生時代に通ったしみち通り裏の飲み屋に繰り出しました。
(一九八三年卒 渡邊 卓)

ホセイ有菜さん

学科一年生のパリ五輪

SPSFCコースのホセイ有菜(ゆり)さん(体育会水泳部所属)が、この夏に開催されたパリ五輪の競泳女子五十m自由形にパラオ代表として出場しました。

開会式の中継では、セーヌ川の船上に素敵な笑顔を確認することができました。そして、八月三日の予選三組では自己記録を更新する三〇秒五二で六位と健闘しました。

パラオ人の父と日本人の母を持つホセイさんは、三重県伊勢市生まれ。六歳から十八歳までパラオで過ごし、二〇二三年九月に第八期のザビエル留学生として本学に入学しました。

勉学とスポーツの両面で充実した日々を過ごしているホセイさん。今後の活躍に期待が高まります。

高祖先生の叙勲をお祝いする会

にご参加ください！

—二〇二五年一月十一日開催—

上智学院元理事長で名誉教授の高祖敏明先生が、令和六年春の叙勲(四月二九日発令)にて「旭日重光章」を受章されました。大学は次のように報じています。

「旭日重光章は、文化やスポーツ、科学技術の振興、環境保全など、社会のさまざまな分野における功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた個人に日本政府より授与されます。

今回の叙勲は、多年にわたり上智学院理事長として、また聖心女子大学学長、文部科学省中央教育審議会専門委員などの要職を歴任してリーダーシップを発揮し、私立学校の発展と振興に尽力したことが評価されたものです」

また高祖先生ご自身は次のようにお話になりました。

「今回の叙勲は私個人のものというより、上智大学・上智学院全体が認められた結果ですし、もっと広く言えば、私学全体が評価されたと思うことだと思います。それを代表する形で、上智の理事長であった私の名が表に出たというところでしよう。その意味で、あ

りがたく受けたいと思います」
五月九日には宮中で伝達式が行われ、岸田総理から勲章・勲記の授与、その後天皇陛下に拝謁しお言葉を賜ったそうです。

上智学院は内外の関係者を招いて、九月二四日にホテルニューオータニで受章祝賀会を開催します。教育学科同窓会からは長尾会長と役員代表が出席予定です。

そして、この慶事にあたり教育学科の先生方と同窓会役員でお祝いの会を開催すべく調整を進め、二〇二五年一月十一日(土)の開催が決定いたしました。

この会は、高祖先生の栄誉をお祝いし、今後のご活躍の祈念する場となります。先生に受章の経緯や伝達式の様子を伺うほか、勲章を拝見することができるとも思えません。また、先生と親しくお話もできますし、学科を退任なさった先生方もご出席くださる予定です。卒業生の皆さまにはお誘い合わせの上奮ってご参加ください。

なお、高祖先生は現在、聖イグナチオ教会の主任司祭でいらっ

しやいます。
祝賀会の詳細は今後同窓会のホームページでお知らせします。また、事前申込をなさった方にはメールで連絡を差し上げます。

高祖先生の叙勲をお祝いする会(仮称)

1. 日時:2025年1月11日(土) 14:30~16:30 (14時受付開始)
 2. 会場:上智大学2号館5階食堂
 3. 会費:5,000円
- ※ 参加ご希望の方は、「高祖先生祝賀会参加」と明記し、お名前と卒年を添えて、10月31日までに1面の会員大会と同様にご連絡ください。
- ※ 時間及び会費は、現在の予定をお伝えしております。



◆◆「上智大学教育学科同窓会」役員一覧◆◆

《2024年6月1日～2027年5月31日》

- 会長 : 長尾 和洋(1986)
- 副会長 : 片桐 智樹(1991)[新任]、黒木 健(1993)[新任]
- 役員 : 伊藤 奈美予(1977)、栗原 峰夫(1982)、神林 達郎(1983)、栗原 明子(1985)、赤松 加奈子(1987)、森澤 洋子(1993)[新任]、杉浦 元一(1995)[新任]
- 監事 : 手島 美智子(1978)

※ 以上、会長、副会長(2名)、一般役員(7名)、監事が、定例の運営メンバーとなります。新規役員絶賛募集中です!!

上智大学教育学科同窓会 2023年(令和5年)度 会計報告			
(令和5年6月1日～令和6年5月31日) (単位:円)			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	1,386,454	事務局運営費	
		振込手数料	550
会費		インターネットプロバイダ	13,500
終身会費:銀行振込	100,000	会員大会関連	
同窓会参加費	69,000	講師謝礼	6,179
銀行利息		懇親会費	55,370
三井住友銀行	1	会報関連費	
ゆうちょ銀行(定期含む)	3,194	ROAD印刷代	16,590
ソフィア会より振込	100,000	発送用ラベル他	5,894
		輸送交通費	900
小計	272,195	送料	186,564
		慶弔費	
		卒業祝(シャーボ)	29,122
		高祖先生祝電	5,555
		小計	320,224
		繰越金	1,338,425
合計	1,658,649	合計	1,658,649

上記の通り令和5年度の会計を報告いたします。
 令和6年8月6日 会計担当:伊藤 奈美予
 上記の会計報告を監査した結果、正確かつ適正であることを認めます。
 令和6年8月6日 監事:手島 美智子

◇ 会員大会・アジエンダ ◇
 (二〇二四年十一月十日(日))
 十四時十五分～十四時三〇分

一 開会宣言
 二 活動報告(長尾会長)
 三 会計報告(会計委員会・伊藤)
 四 新任役員紹介(監事・手島)
 五 監査報告
 六 閉会宣言

以上

「上智大学教育学科同窓会」活動報告
 【2023年(令和5年)度】
 記

- ①役員会開催(7月15日、1月20日、4月20日)
- ②会報誌「ROAD」発送作業(9月16日)
- ③会員大会・講演会開催(11月12日)
- ④学位授与式参列・卒業生へのメッセージ(3月25日)

☆☆「同窓会終身会費」納入のお願い☆☆

教育学科同窓会の各種活動(会報誌「ROAD」の製作・発送、会員大会の企画・運営他)は、全て同窓会会員の皆さまの「終身会費:10,000円」のみに依拠しています。2024年9月1日現在、住所の判明している同窓生のうち約30%の皆さまには会費の納入をいただいておりますが、会計報告の通り毎年の繰越金も心許ない状況です。より一層多くの皆さまのご協力を切にお願いいたします。

- 振込先① : 三井住友銀行 三鷹支店 普通 7147840
- 振込先② : ゆうちょ銀行 店番 018 普通 1626482

- ✓ 名義はいずれも、「上智大学教育学科同窓会」です。
- ✓ 振込ご依頼人の前に、「卒年」を西暦2桁で付けてください。(例: 86 ナガオカズヒロ)

上智大学教育学科同窓会報 **ROAD** 第27号
 発行: 上智大学教育学科同窓会 責任者: 会長 長尾 和洋
 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
 上智大学総合人間科学部事務室内
 TEL: 03-3238-3650 FAX: 03-3238-3980
 ホームページ: <https://www.sophia-education-alumni.com/>
 Facebookでも最新の活動をお知らせしています!

【 WANTED! 】

- ✓ お知り合いの同窓生に、「ROADが届かなくなった。」「そもそも届いていない。」等の方はいらっしゃいませんか?
- ✓ 同窓会ホームページの「コンタクト・ページ」経由、または sophia.education.alumni@gmail.com まで、お名前(含旧姓)・ご住所・卒年をお知らせいただくよう、是非お伝えください。